

〔取組区分〕

人材育成躍

〔事業分野〕

造船業

〔実施主体〕

形原造船(株) *愛知県蒲郡市

〔対象者〕

社員

旅客船などの建造マルチスキルの育成

～「教えて・行ってみせて・自ら行う」従業員参加型の人材育成～

■ 取組の目的・背景

最後の労働集約型産業の一角を占める造船業は、ドック、クレーンなどの大型設備や手作業による多数の工程を必要とします。設計・生産活動の基盤である人材の確保・育成は、業界共通の課題でもあります。

当社は、主力商品である小型船舶の設計・生産の特殊性を踏まえ、アルミ軽合金船・鋼船・FRP（注）船すべての船質に対応する小型船舶の建造マルチスキルの育成に取り組んでいます。

（注）繊維強化プラスチック（Fiber-Reinforced Plastic）

■ 取組の概要

当社は、小型船舶の建造を専門とする造船所です。造船で一般的な鋼船やFRP船に加え、アルミ軽合金船を主力商品としています。特にアルミ軽合金船については、当社の建造技術が評価され、旅客船や漁業取締船など一般商船以外の多様な種類の船舶の建造を行っています。

一方で、多様な船質・船種を扱うためには、切断・曲げ等の材料加工、溶接、ひずみ取りなど建造する船舶それぞれの特性に応じた建造技術が求められます。

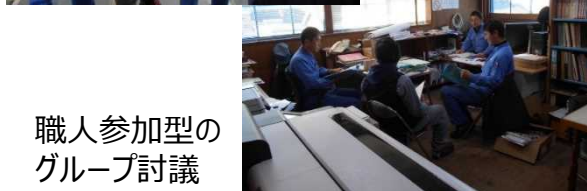
このため、当社では、アルミ軽合金船・鋼船・FRP船すべての船質に対応する建造マルチスキルの育成に努めています。すべての従業員（約10数名）が参加し「教えて・行ってみせて・自ら行う」ことを人材育成の基本に、鋼に比べ難易度が高いアルミ軽合金の溶接等のベテラン職人による指導、技能センター・他の造船所への実地体験、職人参加のグループ討議による技術改善・技能伝承などに取り組んでいます。



建造中のアルミ軽合金船と職人



ベテラン職人による
技術指導



職人参加型の
グループ討議